

## 243rd IBB Seminar

# ペプチド・タンパク質の主鎖改変を基盤とする ケミカルバイオロジー

講師：鳴海 哲夫 准教授

静岡大学大学院総合科学技術研究科  
化学バイオ工学専攻

日時：令和4年1月22日（土）  
15:30～17:00

会場：Zoomによるオンライン開催



Abstract: 近年、生体分子進化工学を起点とする新しい分子技術や高度な化学選択的反応が見出され、これまで未開拓なケミカルスペースにあったペプチド性化合物の化学合成が可能になりつつある。我々は、生体分子またはその一部を有機化学的に修飾した「似て非なる分子 (インスター分子)」を基盤とする分子科学研究を進めており、本講演では、ペプチドやタンパク質の主鎖ペプチド結合を化学修飾することで、それらの構造や機能を制御する Backbone Modification (主鎖改変) に焦点を当て、その特徴や応用例などについて、我々の最近の成果を中心に紹介し、議論したい。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野  
亀井(内線 8036)、玉村

